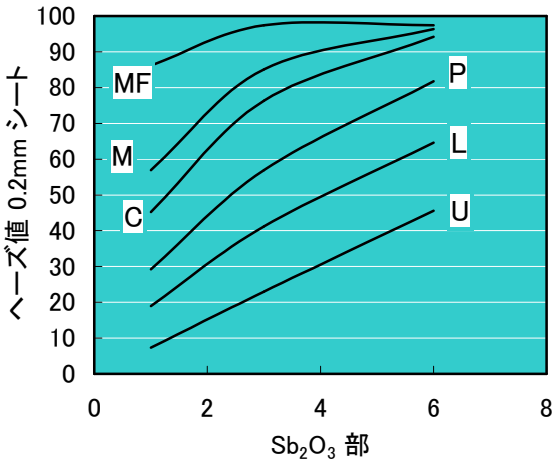
三酸化アンチモンの粒度と透明性

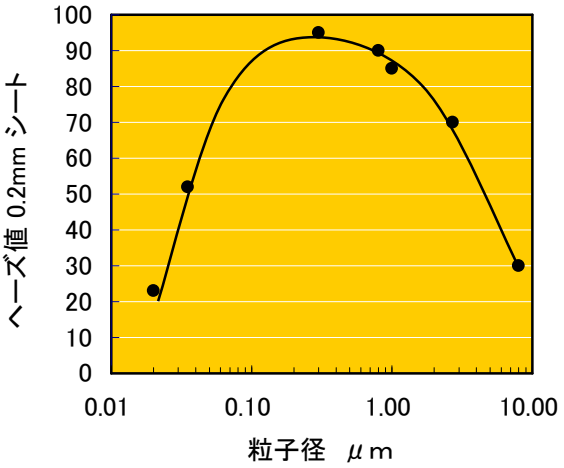
三酸化アンチモンは広く難燃助剤として用いられていますが、古来より白色顔料として用いられていたこともあり、場合によってはその顔料的な特性が問題となることもあります。 ここでは三酸化アンチモンの粒度と透明性についてお知らせします。

方法

ＰＶＣ	１００部		混練		プレス		ヘーズ測定
ＤＯＰ	５０部	→	１５５℃	→	０．２㎜	→	ＨＧＭ－２Ｄ
安定剤	３部						スガ試験機
三酸化アンチモン	－						

結果





このように樹脂の透明性は三酸化アンチモンの粒度に依存しますので、その選定には注意が必要です。

製品色調が白色系の場合は PATOX-MF あるいは PATOX-M、逆に鮮明色を必要とする場合には PATOX-L あるいは PATOX-P が好適といえます。

※記載データは弊社試験方法による実測値の一例であり規格値あるいは効果の保証値ではありません。

http://www.nihonseiko.co.jp

本　社
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町3-2
TEL 03-3235-0021(代表)　03-3235-0031(営業)
FAX 03-5261-7335

大阪営業所
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-2-11
大同生命南館
TEL 06-7711-0120　FAX 06-7711-0121

中瀬製錬所
〒667-1111 兵庫県養父市吉井1198
TEL 079-667-2121
FAX 079-663-5000